

ブルーノ・ラトウール 『科学論の实在—パンドラの希望』を読む 第9回

ラトウール(1947年-)は、科学の人類学的研究を出発点に、射程の広い独自の思想を深めているフランスの哲学者です。

『科学論の实在』は彼の中期までの研究の集大成です。これを読めばラトウール哲学の本質にさまざまな角度から接近できます。

ラトウールの翻訳も手掛けている理工学部の荒金直人先生が案内人となってくれます。教職員・学生の皆さん自由に参加できます。

哲学、科学論、人類学に興味のある方はぜひ!!

《課題図書》

ブルーノ・ラトウール『科学論の实在—パンドラの希望』
産業図書、2007年 (第9章と結論を読みます)

(課題図書の入手が困難な場合はお問い合わせください)

2018年3月30日(金)18:00~

日吉キャンパス 来往舎2階 小会議室

お問い合わせ:工藤多香子(経済学部)takakokudo@z5.keio.jp

後援:教養研究センター